

京城日報

刊夕日四十二

露國政變

英國議會の祝電

二大公と政體復活難

蘇蘭秘密警察團解散

キエフ僧侶團の宣明

ア州總督捕縛とる

米獨開戦切迫

獨逸外務省の警告

獨逸の講和意思探査

駐澳支那公使へ訓電

獨逸公使領事

等の歸路

政變と露貨昂騰

定例閣議開會

露國の政局に就き報

聯合用紙値上

農林校卒業式

黒田子爵薨去

金山北行客

鴨江全部解氷

總督清州出發

鳥致院經由

職員更迭

鮮銀の東滿發展

吉林出張所

下關出張所

李俊公葬儀

小原長官動靜

李俊公邸の光榮

御禮傳奏方依囑

土木主任招待

總務部改組

學務局長來函

限部長長官巡視

三十三萬袋の製粉

三十三萬袋の製粉

三十三萬袋の製粉

三十三萬袋の製粉

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

東拓移民

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

逐鹿夜話

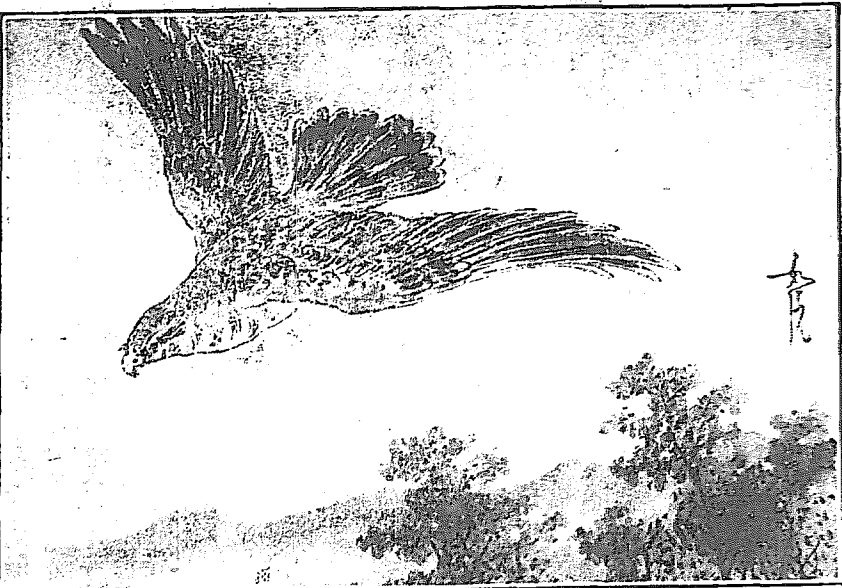
逐鹿夜話

逐鹿夜話

第九十五席

田邊南龍口漢

家主八右衛門は差左衛門の屋敷より借受け参つたる燈籠、馬印を豆燈籠六兵衛の家の御へ飾し幕などを張廻して大騒ぎを造つて居る。此を見し町内の若衆が大衆集つて「何にしろ六兵衛さんの初孫の節句だか隠ひの品を贈れ」といふので未儀で掬ひて来る者もある、又は野郎物、魚籃などを持つて参つてワイ／＼と喜いで居ります。忽ち又八右衛門より説教。誠に手澤者を取つて大喧嘩。居る處へ家主の八右衛門が其處へ着たを制止し「一是はわ役人様御苦勞までございます、手前主の八右衛門と申す者、此の武大久保差左衛門様の御所持の品飾り立つて宜しいと云ふ事でございます。枉亂と思召さば大久保様お問合せを願ひとうございます。云々故井上主膳頭より大久保差左衛門へ問合せますと、將軍家子様の爲に飾つたと云々井上主



類でありますから 幸松丸君を此れ
にお預けになりました。保科正光は
幸松丸君を預つて大切に御養育をい
たしましたが、早や七歳にも相成り
ました故上より何故か御沙汰がある
であらうと相待つて居つた處何の沙
汰も無い、依つて御選拔のご意の方
りです。故に大納言長公の手を經て
上へ伺ひました處、是奈何の御沙
汰もございせん、最も此の御は忠
長公不首尾の折柄でございます故是
を押し返して願ふ譯にもならんもの
を仕立

鳥獸制製調進販賣鳥毛類估價買入れ
鳥羽毛類 京城本町三丁目
鳥獸制製標本

樽元商行

電話二四九六
支店 二四九六

梅毒の

無料相談

……病名を記しハガキで申込め……
最初めに梅毒が傳染し醫師に行くの
も恥かして打掛ぬくは危險にて常感
しつゝある人は安全な内服化學利
で自宅で秘密に療症が内服治癒
慢性梅毒が潜伏して居つて時候の
變り目など色々な病が出る人も又
現に外へ顔面に吹き出して長治らな
かつた人も現代最善の進歩療法たる
化學療法にて自宅で安全迅速に治癒
……療病者……病名を記し照會
あれ簡單なる自療法を回答す
……當所は徳義を重じ秘密を嚴守す……

[illegible]

東京市本所
東京農化學研究所

▲▲▲▲▲
▲現期株券の
▲株明細を購
▲で証券地の
▲入金金は近
▲の定期貯蓄
▲方法では現
▲金取引は買
▲入るに際し
▲は低利で買
▲取出来ても
▲話する

◎富豪たれば讀め!!

成功者の第一の近路は
利殖の利殖法を講ずるに
在り。利殖法は近道であ
る。銀行の利殖法は前々
と誰に師を授けんとせん
と云ふは容易に現る。其
の先づ成金を讀むを講ず
る。

利殖の成金讀本

金の問題は利殖法の本質
より急な利殖法の本質
を解決せんは本質にして
唯一の教科書銀行で編
纂するも驚くべき安易で
なる利殖法を説く三錢對
蹠踏踏は成功の敵也

客内

東京日本橋區本町八番地
公成株式現物問屋

◎栄桐生屋株式除店

電話 花 二二四一
二二四二
二二四三
二二四四
二二四五
二二四六
二二四七
二二四八
二二四九
二二五〇
二二五一
二二五二
二二五三
二二五四
二二五五
二二五六
二二五七
二二五八
二二五九
二二六〇
二二六一
二二六二
二二六三
二二六四
二二六五
二二六六
二二六七
二二六八
二二六九
二二七〇
二二七一
二二七二
二二七三
二二七四
二二七五
二二七六
二二七七
二二七八
二二七九
二二八〇
二二八一
二二八二
二二八三
二二八四
二二八五
二二八六
二二八七
二二八八
二二八九
二二九〇
二二九一
二二九二
二二九三
二二九四
二二九五
二二九六
二二九七
二二九八
二二九九
二三〇〇
二三〇一
二三〇二
二三〇三
二三〇四
二三〇五
二三〇六
二三〇七
二三〇八
二三〇九
二三一〇
二三一一
二三一二
二三一三
二三一四
二三一五
二三一六
二三一七
二三一八
二三一九
二三二〇
二三二一
二三二二
二三二三
二三二四
二三二五
二三二六
二三二七
二三二八
二三二九
二三三〇
二三三一
二三三二
二三三三
二三三四
二三三五
二三三六
二三三七
二三三八
二三三九
二三四〇
二三四一
二三四二
二三四三
二三四四
二三四五
二三四六
二三四七
二三四八
二三四九
二三五〇
二三五一
二三五二
二三五三
二三五四
二三五五
二三五六
二三五七
二三五八
二三五九
二三六〇
二三六一
二三六二
二三六三
二三六四
二三六五
二三六六
二三六七
二三六八
二三六九
二三七〇
二三七一
二三七二
二三七三
二三七四
二三七五
二三七六
二三七七
二三七八
二三七九
二三八〇
二三八一
二三八二
二三八三
二三八四
二三八五
二三八六
二三八七
二三八八
二三八九
二三九〇
二三九一
二三九二
二三九三
二三九四
二三九五
二三九六
二三九七
二三九八
二三九九
三四〇〇

株券株式を置くに東京株式置賣所
成利株式を置くに東京株式置賣所

振舞をする、イヤ町内の騒ぎ一方で
はございせん、處へ來かゝつたは
町奉行の井上主計頭、見るに宛然然
藏の襟を騒ぎでそれのみならず旗馬
印を押立て甲冑なぞが飾りある、主
「コハ怪しからんことである、幕平の
御世に鎧鉾旗馬印などを押立てるとは
怪しからん、何事であるか是を取訊
べて見よ」と仰せを受けて下役の者
五六人其處へ駆來つて「コレ何事
であるか神妙にいたせ」と其處へ入
らうとする、若い者は此を見て
何を云やアがらん木葉役人、グズ
「云ふは打のめずる、是怪し
からん役人を御心行る、何者が
指圖したに旗馬印などを立たの
である、若六兵衛さんの初孫の御句に
から立たのだ、六兵衛と申すの口
僞者である、若豆腐だ」と云つて

も強て答める譯には相成りません、
儘にして引取りました、親左衛門
より御男子御出生の由を申し上げ
と秀忠公も大府お喜びあつて御名
幸松丸と付けられまして早速御手
へ引取るべきだが、御壺所のおね
と云ふ方が非常に嬌媚深き御方で

泌尿器科 皮膚科
外科一般 花柳病科
院長 安部 醫院
京橋永樂町二丁目金光教會隣
安部 醫院
安部修三
電話一九七

ざいますから其のこととせなからす
心配あらせられたる處大姥の局と
久仁彦左衛門と相睦の上、信州高
三萬石便所也、此正光へお預けに
りました、正光の父正直は家康の御
多御殿を養ひにいたして越前家の御

[illegible]

日本全國
 一、番
 使つて見ても
 香を聞いても
 水は
 コレです
 タツタ一、滴で
 言ふに言はれ
 い、
 包ひ
 本舖東京
 安藤井簡堂
 室内香置上上品

無料相談

初めて梳粧が傳染し醫師に行くの
恥かしう打掃うは危險にて當
つてある人は安全なる内服化
療に自來で秘密に瘧疾が出た
慢性梅毒が潜伏して居つて時
々目などに色々の病が出る人
も又及ばぬ間に吹き出して長
くた人も現代最善の進歩療法
に化療にて自來で安全速に治
る

▲疾病の患者も病名を記し照會
ある簡単な自療法を回答す

▲常時は衛を重し和室を嚴守す

[illegible]

原 料 香 水

オウダン水

日本全國
 噂を聞いても
 使つて見ても
 一番
 信用する香水は
 コレです
 タツタ一滴で
 音ふに言はれ
 い、
 匂ひ

宮内省御用上品
 本舗東京
 安藤井筒堂

いよ番一も行賞も判評も質品
代が君漆がら志

THE ASSOCIATED LITHOGRAPH CO. LIMITED, CALCUTTA

品 質 本 位

REGISTERED TRADE MARK

登錄商標

君の代

KIMIGAYO

本品の特色
 ○用法 輕使三十分間に染る
 ○手洗 洗滌し手洗する
 ○乾毛 乾毛を直し染め色も永く残す
 ○二回目は乾毛を洗滌し乾毛を直す
 ○着 乾毛を直しに洗濯せず
 △到る處の藥房雜品店にあり
 定價 特小 二十五錢 特大 四十五錢
 東京市芝區新橋新井町
 本館 山吉商店
 長崎山下町三八二
 大坂市東區切通町五
 關西代理店 伊藤朝日堂
 電話 大阪四三六九
 京都大坂三九〇

と道の血病宮子

彼れ是に迷ふ無く

最も能く良藥神師
湯試上堦に百万手
之毒も明なき瘧疾の
血の毒や、多年不治
のヒズリや、
年餘の瘧疾を癒
め固疾の血氣リウマ
テス神痛の方々が
神痛風痛連服で漸次
快方へ近き迄にはス
ツカリ快癒を望む
除くは良藥神師一現
在保存一般の間宮
に供するを志す
實際除くは若干は

湯^ユ 疝^{セン} 神^{カミ}

子宮
 血の道
 ヒステリー
 慢性
 胃腸に
 能く
 必を要す

は人むにスチマウリ

[illegible]

恩師乃木院長

小笠原長生文序 服部他助新著

四六版四百二十頁 乃木大將肖像(イコラ版) 著者最影寫眞版數葉挿入
上製總クロス定價金一圓八十錢 並製金八十五錢 各八錢税
金文字美本


青年子弟
德性涵養
の良典範
學校職員
育英薰陶
の好指針

新刊發賣
賣捌所

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三三〇 民友社
京城太平町 振替三〇〇 京城日報社代理部

古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、慎修篤行、萬人齊
しく瞻仰景慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀
也。著者は十有餘年學習院に教鞭を執る人、殊に
乃木大將院長時代、寄宿寮監督の重任を帯び、
親しく大將に昵近して、其の偉大なる思想人格に
より、寮生監督の職責を全うしたる人也。大將薨後
追懷景慕する能はず、當時の觀察感想を記載し、
たる日誌を基礎として、當時時代に於ける大將の
眞面目を縱横自在に發揮せざるもの即ち本旨也。通
篇十九章五十九節、其の華族子弟の寮舎生活を闊
寫し、乃木大將を中心とせる感化訓育事業を詳述
し、人道の儀表たる大將の人格を披露して、些の遺憾
なきに實に乃木大將傳中、別種出色に屬する大
文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。

榮光
崇崇崇崇
官内省御用命の榮光に浴し
同時に
伏見宮
久邇宮
製本宮
を初め本邦 各商賈の
御家庭より平素の
飲料として 御買上る
榮光酒



同本京東
衛兵利源近

純國産
牛久赤白葡萄酒
崇畏も
以所々廉低格價

最^{イッパ}多^クシキ^クカ
 かせねつ薬^{ヤク}
 印^{イン}蛇^{ジャ}

ア
 ン
 子
 ヒ
 リ
 ン
 丸^ワ

にせ物あり蛇印に注意!


十 袋
 十 三 袋
 廿 三 袋
 五 十 袋

内外^{ウチソト} 人の^{ひと}

上流社會^{じやうりゅうしやかい}に
 暗傳愛賞^{あんでんあいじやう}さる、

品^{しん} 質^{しつ} 優^{ゆう} 秀^{しゆ}

本品は英振神牛久
 神谷商會に星
 谷伊織城造主



漢化と

仁丹

花見遊山に

仁丹

御携帶が肝心

金言
おのり人達
薬師は病を治す

